

令和5年度第1回東淀川区区政会議 会議録

1 日 時 令和5年9月21日（月）午後7時から午後8時

2 場 所 東淀川区役所3階 区民ホール（WEB併用）

3 出席者の氏名

（東淀川区区政会議委員）

藤野 進議長、東田 卓也副議長、上杉 知永子委員、植原 孝廣委員、上尾 敏雄委員、
宇田 聖司委員、梅田 純子委員、奥田 博美委員、黒木 智之委員、高倉 敏夫委員、高
月 正人委員、田原 佳織委員、床田 淳子委員、中西 みゆき委員、濱田 和巳委員、堀
智佐子委員、松井 千奈江委員、松川 龍夫委員、松下 澄恵委員、松田 淳子委員、矢
森 茂一委員、吉田 智子委員

（東淀川区選出市会議員）

石川 博紀議員、橋本 まさと議員（web）、岩池 きよ議員、ますもと さおり議員

（東淀川区役所）

西山 区長、前田 副区長、奥野 総務課長、宮本 総合企画担当課長、古川 地域課長、大橋 安全安
心企画担当課長、吉矢 企画調整担当課長、上村 窓口サービス課長、原 保健福祉課長、大谷 子育
て企画担当課長

4 委員に意見を求めた事項

議題（1）令和4年度東淀川区運営方針自己評価について

（2）その他

5 議事内容（発言者名及び発言内容）

○濱係長 それでは、定刻になりましたので、ただいまより令和5年度第1回東淀川区区政会議を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、お忙しいところ、またお足元の悪い中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

私は、本日の司会進行を務めさせていただきます東淀川区役所総合企画担当の濱と申します。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、開会に当たり、区長からご挨拶申し上げます。

○西山 区長 皆さん、こんばんは。区長の西山でございます。いつもお世話になっております。

委員の皆様方におかれましてはご多忙の中、また、あいにくの雨が降っておりまして足元の悪い中、この区政会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

皆様ご承知のとおり、区政会議の委員の任期は2年となっております。皆さんの現在の任期が今年9月末までとなっております。現在のメンバーといたしましては最後となります区政会議、ウェブも併用しながら開催をしております。音声の状況や事務局の不慣れな点等によりましてご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、その際はご容赦の上、ご協力いただきますようよろしくお願いをいたします。

本日の議題であります令和4年度東淀川区運営方針自己評価につきましては、先立って開催させていただきました各部会で様々なご意見をいただいております。そのいただきましたご意見につきまして、中心に説明させていただきますので、委員の皆様からのさらなるご意見をお聞かせいただきますようよろしくお願いをいたします。私からの挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いをいたします。

○濱係長 続きまして、本日ご出席の市議員・府議会議員のご紹介をさせていただきます。

市議員の岩池議員。

○岩池議員 どうもこんばんは。よろしくお願いします。

○濱係長 ますもと議員。

○ますもと議員 こんばんは。ますもとさおりでございます。よろしくお願いします。

○濱係長 石川議員。

○石川議員 石川博紀です。今日もよろしくお願いをいたします。

○濱係長 橋本議員はウェブのほうでご参加いただいております。

議員の皆様に関しましては、条例の規定により、区政会議に出席し、必要な助言をすることができるかとされておりますので、よろしくお願いをいたします。

ここで、川崎委員がウェブで参加される予定でしたが、まだちょっとお入りになられておりませんということです。

本日の会議におきましては、本会場において21名の委員にご出席いただいております。出席者数が定数の39名の半数以上でありますので、この会議は有効に成立していることをご報告いたします。

本日の議事録につきましては、発言者ごとの氏名とその発言内容を記載した議事録により、後日公表させていただきますので、ご了承をお願いいたします。

続きまして、お手元の資料を確認させていただきます。議事次第、配席図、これは両面印刷をしております。当日の資料といたしまして、令和5年度の東淀川区区政会議第1回各部会での意見と対応一覧、当日資料の2といたしまして、地域づくりアドバイザーご紹介メニューの2種類を添付しております。

続きまして、先日の部会で使用した資料はお持ちいただいておりますでしょうか。4年度の自己評価の概要版になります。皆さん、お持ちでしょうか。

それでは、ここから藤野議長に進行をお願いいたします。

○藤野議長 本会議長の藤野です。よろしくお願いいたします。

まず初めに、本日の会議の流れについて簡単に説明いたします。

まず、先日開催されました部会の報告を各議長より行っていただきまして、その内容を共有していきたいと思えます。具体的には、安全・安心・まちづくり部会に関しましては上杉委員から、当日に出された主な意見の内容と、それらの意見に対して区役所からその場でご回答いただいた内容を報告していただきまして、その後、区役所のほうから当日回答していなかった部分を中心に補足説明を加えていただきます。それが終わりましたら、同様に教育・健康・福祉部会の内容を東田委員から報告いただいた後、区役所から同様に対応方針を説明していただきます。その後、全体を通しまして、各委員の皆様からご意見をいただきたいと思えますのでよろしくお願いいたします。

なお、本日の議事の進行を円滑に行うため、部会で議論いたしました運営方針に関する資料の説明に関しては省略いたします。ご了承ください。

それでは、まず安全・安心・まちづくり部会について、部会議長の上杉委員から報告をお願いいたします。

○上杉委員 こんばんは。着座で失礼いたします。安全・安心・まちづくり部会の議長の上杉と申します。

安全・安心・まちづくりの部会では、経営課題1、自助・共助を担う地域力と、にぎわいのある元気なまち、経営課題4、安全・安心のまち、経営課題5、区民の役に立つ区役所があるまちについて議論してきましたので、ご報告させていただきます。

まず、経営課題1-1について、地域づくりアドバイザーの役割や支援内容にはどのようなものがあるのかという意見がありました。こちらは本日、支援メニューをまとめたものを区役所から配付いただくことになっております。また、地域活動協議会を知っているかについて、区民アンケートでの認知度が低いこと、地域活動協議会に関わっていない人へのアプローチなど、どの世代に地域活動協議会を知ってほしいのかといった意見がありました。区役所からは、区役所1階やイオンのデジタルサイネージを活用して広報をしていることと、SNSも活用して認知度の向上も引き続き行うこと、また、地域づくりアドバイザーが中心となって様々な広報ツールを活用できるように各地域活動協議会を支援していくとの回答がございました。

次に、経営課題1-2について、区民まつりのパレードを復活しないのか、BCP学びの場の開催が少ないのではないのか、地域活動の新たな担い手として、大学だけではなく中学生なども将来の担い手になるのではないのかという意見がありました。区役所からは、担い手について、

区内2大学と連携した取組に限らず、区内でも中学生を担い手と考えている地域があること、また、他区でも中学生を担い手として取組を進めている事例もあるので、他区の好事例を共有していければと考えているとの回答がございました。

経営課題1-3について、西部地域まちづくりの進捗が順調ではない要因は何か、また、西部地域まちづくりでどのようなまちになるのか、見える広報が必要ではないかという質問、意見がございました。区役所からは、コロナ禍で各地域の議論が進まなかったことが順調でなかった主な要因であること、各地域でも活用できる広報素材について区役所で準備を進めていること、区民に将来の東淀川区を楽しみにしてもらえよう思っていたらと考えているという回答がございました。

次に、経営課題4-1について、福祉施設との連携等を盛り込んだ訓練はどこで、どのような訓練を実施したのかという質問があり、区役所からその回答をいただき、事例共有をしました。また、具体的取組4-1-1のプロセス指標は区民の自発性によるもので、行政だけでなく、様々な団体の協力も必要ではないか、また、区職員も被災者となり得るので、災害時に区民に何をしたら助かるかを周知してはどうかという意見がございました。区役所からは、発災後、まず避難所の開設・運営に関わること、次に災害情報を地域に発信し、地域住民に情報を得ていただくような流れとなるので、区民にも協力をお願いしたいと考えているとの回答がございました。

経営課題4-2については、特殊詐欺対策電話の設置により特殊詐欺の件数はどのくらい減っているのかという質問がございました。区役所からは、去年の件数について、また、東淀川警察や関係行政全体で啓発活動を実施しており、区役所でも機器の貸出しを実施しているとの回答がございました。

経営課題4-3について、区役所等への便としてコミュニティバスを検討してほしいという意見や、健康のために自転車を使わない距離の目安を示す等の啓発をしてはどうかという意見がございました。区役所からは、交通安全や健康だけでなく、様々な課題が関連していて、解決のためにできることを検討していきたいという回答がございました。

経営課題5については、待ち時間にもつながる区役所窓口での苦情対応を早期に対処してほしいであるとか、不適切事務等の件数の前年度の比較を分かりやすくしてほしいという意見がございました。

また、最後に市会議員から、防災をきっかけとした地域活動への関わり、放置自転車などの自転車マナーについてのご意見をいただきました。

以上が安全・安心・まちづくりで出た質問に対する区役所の回答でございました。失礼いたします。

○藤野議長 ありがとうございます。

それでは、区役所から対応方針などについて、補足説明があればお願いいたします。

○宮本課長 こちらからは特にございませんので、よろしくをお願いいたします。

○藤野議長 ありがとうございます。

では、続きまして教育・健康・福祉部会の部会議長の東田委員、お願いいたします。

○東田委員 皆さん、こんばんは。教育・健康・福祉部会の東田です。よろしくをお願いいたします。

私からは、部会の経営課題2、子ども・青少年の健全育成に地域が一体となって取り組んでいるまち、経営課題3、福祉と健康にみんなで取り組むまちについて、議論してきた内容をご報告させていただきます。よろしくをお願いいたします。

お手元のほうには本日の資料で回答はほぼ載っているのですが、詳細についてはご確認いただければと思います。

経営課題、まず2のほうからになりますが、経営課題2-2、子どもサポートネットについてといったところで、本日の資料ではナンバー8のところになります。区政会議の委員のほうからは、子どもサポートネットについて複数の意見が出ております。プロセス指標としては、支援が必要であることが判明した子育て家庭のうち、適切な関係機関につなげた割合が目標達成になっているが、支援が必要との声が届いていないと思われることが幾つかありますといったご意見がありました。それに対する回答になります。子どもサポートネットは学校の気づきから始まり、まず学校内でどの子どもを区役所と共有するか、学級担任や支援学級担当等子どもと身近に接する教職員からの情報を基に、校長・教頭やスクールソーシャルワーカー等と調整して、学校内の会議に上がってそれが決定されますということです。区役所としましては、子どもサポートネット推進員による毎月の巡回で、学校から気になる子どもについてさらに丁寧に取り組み、支援につなげるよう引き続き対応してまいります。地域でそのようなケースがありましたら区役所のほうにお知らせくださいというご回答でした。

続きまして、経営課題2-2も同じくですが、子ども110番の家についてといったところがあります。ナンバー12、13のところに該当します。委員のほうからは、子ども110番の家について、新規でお願いしたり見直ししたりしているのか、また、先日の地域と学校ではぐくみの会議があった際、小学生自身が、子ども110番の家がどこにあるか分からないといったようなお声もありまして、周知ができてないんじゃないかといったようなご意見もありました。それに対しましてということになります。子ども110番の家につきましては、各PTA等が新規の受付等をされておられますが、取組状況は様々です。区役所は、年に1回各PTAに照会（登録件数・活動状況等）を行っておられ、状況を把握しています。そのような機会に情報提供を行うとともに、より積極的な働きかけを依頼していきたいというふうにご回答いただいています。あと、子ども110番の家は、協力いただいている建物の玄関先に黄色いカンガルーの旗や

ステッカー等で明示しておりますので、今後も周知してまいりますとのことでした。

続きまして、経営課題2-3になります。分権型教育の推進についてといったところになりまして、番号ではナンバー16になります。委員のほうからは、学校・地域の実情に応じた教育が行われていると感じる割合を高めるために、課題・実情を示して、こんな事業を実施していると伝えたほうがよいのではないかと、単なる実施内容だけ知らせてもなかなか実感にはつながらないのではないかとといったご提案がありました。区役所のほうとしまして、ご指摘の点を踏まえ、事業周知やアンケートの実施に当たっては、背景にある学校や地域の課題を示すとともに、事業の趣旨・目的について明らかにすることにより、事業や取組の効果や成果を実感してもらえるように努めてまいりますとのご回答です。

続きまして、経営課題3のほうに移ります。経営課題3-1、地域福祉コーディネーターについてといったところで、ナンバー18から23番の割と意見がたくさん出ているところにはなるんですが、地域福祉コーディネーターについて、なかなか認知度が上がらない、独り暮らしの高齢者の数や注意したほうがいいおうち、見回り、声かけなど地域と連携してどこまで行えているのか、相談回数はどの程度あるのかといったご意見がありました。区役所のほうからとしましては、地域福祉コーディネーターの認知度の向上が課題というふうには考えております。各地域の福祉会館等を利用して、地域福祉コーディネーターが身近な相談窓口となっていることを広報紙やホームページ等で周知しておりますが、地域の皆様が気軽に相談できるよう、今後も周知のほうは努めてまいりますということです。また、実際のコーディネーターさんの活動につきましては、東淀川区の社会福祉協議会に設置されている見守り相談室と地域福祉コーディネーターが連携されまして、見守りが必要な方の見守りや声かけを実施されています。一部の地域では、民生委員とも連携しながら見守り活動等を実施しておられますので、そういった事例のほうを地域にも共有することにより、今後も地域での見守りネットワーク体制の構築推進に努めてまいりたいというふうなお考えです。

実際、令和4年度の延べ相談件数、区全体の合計につきましては7,017件ありましたということです。平均すると1地域当たり1か月におおむね30件程度ということで、相談件数としてはそこそこあるのかなという状況が見えておる状況です。

続きまして、経営課題3-2にまいります。地域別保健福祉計画についてといったところで、配付資料の24番から26番のところに書いてあるところですが、区政委員のほうからは、地域別保健福祉計画についても複数意見がありまして、その計画の策定について、新たな3地域というのはどのように選定されているのかといったご意見が上がっております。それにつきましては、令和8年度までに区全体の17地域で地域別保健福祉計画が策定されることを目標としているため、毎年度3地域以上の活動開始が必要と考えています。地域福祉コーディネーターがアセスメントを行った地域別保健福祉計画を策定する際の基礎資料（地域の課題や強み等）の内

容や地域の実情等を勘案して、各地域での地域別保健福祉計画の新規策定及び更新の活動を東淀川区社会福祉協議会さんと共に支援のほうを進めますということです。

続きまして、経営課題3-4のほうに移ります。百歳体操についてといったところで、これにつきましては資料ナンバー31から34番のところになりますが、百歳体操につきましてはとてもいい取組であり、認知度も高いというふうに委員さんからもご意見いただいています。百歳体操の利用者さんにつきましては、百歳体操に参加することで、元気になったらどんなことをしたいかということの目標等を書いてもらえば、今度の活動の動機づけにつながるのではないかとといったところで、またいろいろ地域の中で、今、担い手不足の問題も出ておりますので、そういった担い手の獲得にもつなげていけるのではないかとといったようなご提案もいただいています。それに対しまして、区役所のほうからは、今後も引き続き地域役員や百歳体操サポーターと協働・連携しながら周知してまいりたいというふうに考えておられます。目標などを明確にして動機づけするといった貴重なご意見でありますので、今後住民主体の通える場として、百歳体操サポーターが運営しております。その中でサポーターの交流会等でお伝えさせていただきたいというふうにご回答いただきました。

以上、私からの報告は終わります。ありがとうございます。

○藤野議長 ありがとうございます。

では、今の報告に対しまして、区役所から対応方針などについて補足説明があればお願いいたします。

○原課長 特にございませぬ。

○藤野議長 ありがとうございます。

それでは、ただいまご説明いただいた内容を踏まえまして、委員の皆様からご意見を賜りたいと思います。発言は、私からの指名の後に、まずお名前を名のっていただいてからお願いいたします。なお、限られた時間となりますので、ご意見は要点をまとめていただいて、端的にお願いしたいと思います。

ご意見のある方は挙手でお知らせください。発言の際、マイクのほうを2本お渡ししますので、両方使ってお話しいただきますようお願いいたします。

それでは、ご意見のある委員の方、いらっしゃいますでしょうか。

最初の区長からのご挨拶にもあったように、この任期での最後の会議となりますので、この機会に忌憚のない意見をいただけたらなと思います。

もしもうご意見ないようでしたら次の議題に移っていきなと思いますけども、よろしいでしょうか。

それでは、続きまして議題2、その他として、区役所からお知らせ等はございますでしょうか。

○宮本課長 すみません。特にお知らせというのはございません。

ちょっとここで言うのも何ですが、皆さん、雨の中、天候の悪い中、お集まりいただきありがとうございました。こちらからは特段の補足の説明はございませんので、次、お願いいたします。

○藤野議長 ありがとうございます。

では、続きまして、現委員での区政会議は本日が最後となります。この機会に、各部会の議長から一言ずつ、今期の振り返り、総括についてお願いしたいなと思います。

まず、安全・安心・まちづくり部会、上杉議長からお願いいたします。

○上杉委員 安全・安心・まちづくり部会の上杉でございます。

最初の任期から4年たっております。何も分からないまま走ってきたなと思うんですが、議長になってから皆様のお顔も覚えるようになって、いろんな意見があるな、細かいことも言ってきたなというのがすごく分かりました。それと連携して、区役所のほうから、真摯にその質疑をしっかりと受け止めてご回答いただくことが大変多く感じられましたので、この議会に関して、最終的に私のほうから申し上げるのは感謝と、皆様の気持ちを酌ませていただけたかなと思います。ちょっとお勉強が不足していたと思いますが、皆様のいい知恵をお借りして、いろんな意見も聞けて、お勉強させていただけたなと思っております。ありがとうございました。

○藤野議長 ありがとうございます。

では、続きまして教育・健康・福祉部会、東田議長からお願いいたします。

○東田委員 続きまして、教育・健康・福祉部会、東田です。よろしくお願いいたします。

私も任期2期目で4年目ということになります。本当に皆様ありがとうございました。私も何も分からない中で始めた委員ということにはなるんですけども、部会のほうで本当に皆さん真剣に意見いろいろおっしゃっていただいてといったところで、そこは本当に印象に残っております。あと東淀川区をよくしたいなという思いもやっぱり伝わってきたかなというふうにも感じています。やっぱりこの区政会議の場、住民さんの意見を酌んでいただいて、いろいろ酌み上げていただいているなといったところも感じております。

一つ、ちょっと成果というか、用語集を作っていただいたところがすごくありがたかったかなというふうに思っています。本当に意見取り上げていただきまして。それが手元にあることで、事業とか、本当に初めて委員になられた方にはすごく役に立ったのかなといったところも感じております。

ただ部会のほうもなかなか出席のね、ご予定、皆さんお忙しい中だとは思いますが、もうちょっと参加していただけたらよかったのになといったところも正直思うところはあります。本当にいい場ではあるかなというふうに思っていますので、今後も工夫されながら運営の

ほうしていただければなというふうにも感じております。

本当にこの4年間というか2年間含めてですけども、私にとってもすごく有意義な時間になったかなというふうに思います。なかなか資料を読み込むのが大変だったとは思いますが、皆さん、どうもありがとうございました。

○藤野議長 東田議長、ありがとうございました。

それでは、最後に、本日ご出席の議員からご助言などございましたらお願いできますでしょうか。

岩池議員から順番にお願いいたします。

○岩池議員 お疲れさまでございます。本当にお忙しい中、こういう区政会議に参加していただいている、素晴らしい会だなど思っているんですが、今日このメンバーで区政会議になるのが最後ということで、残念なんですけれども、任期を1期されてる方もいれば2期目の方もいろいろいらっしゃると思うんですけれども、こういう場で、私も一区民ですので、こういう意見があるということ拾い上げて、役所のほうといろいろ連携していくということは非常に必要だなども日々感じておりますし、今日、ご意見というか感想といたしましては、先ほども議長からありましたけれども、安心・安全なまちづくりというところと、あと区民の皆様方の教育や健康というようなこと、そういうことを考える中で、この資料にありますとおり、意見、経営課題の内容、様々多岐にわたっていると思うんですけれども、それぞれ事業自体の内容を掘り下げるものではまだなくて、どちらかという、どの経営課題を見ても認知不足というところ、そこが押しなべての経営課題なのかなと。教育面ですとか安心面とか、そういう内容をいろいろ地域の方は比較されていると思うんですけれども、やはり広報不足というところが非常にあるのかなと思います。

幾らいろんな行政サービスをしていても認知されないと利用もされませんので、何かそういう、まずPR的なことを、私も含めなんですけど、何ができるのかということを考えていきたいなと思います。

そして、いろんな周知、認知される中で、その事業自体の中身がもっとこうあるべきだなとか、そういうことを掘り下げる、ぜひ区政会議にさせていただきたいなというふうな、そういう所感を持ちました。

任期これで最後ということで、更新される方もいるかちょっと存じ上げないんですけれども、ひとまずお疲れさまでございましたということと、また引き続きよろしく申し上げますと、そういう形で私の意見にさせていただきます。失礼いたします。

○ますもと議員 お疲れさまでございます。ますもとでございます。

何も分からない中、委員になっていただいたということで、お二人の議長からご挨拶いただいて、本当に感謝しかないと思っております。分からない中でも一生懸命に取り組んでいただ

いて、東淀川区をよりよくしたいということで区政会議にご参加いただいて、いろんな意見を酌み取っていただいて、少しでもよくしていただきたいという気持ちが本当に伝わってきました。ありがとうございます。

私も議員をさせていただいております、日々地区でお会いさせていただいた際に、小さなお困り事とかもお声がけいただいて、解決できる問題と解決できない問題もあるんですけども、少しでもお役に立てるように頑張っていきたいと思っておりますので、また今後ともどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

○石川議員 自由民主党、石川博紀です。

本日も雨の中、お疲れさまでございました。2年の任期というところで、またこれから引き続きという方もいらっしゃる今日までという方もいらっしゃると思いますけども、雨の日も風の日も、また寒い冬の日も夏の暑いときも、夕方お出ましくい時間帯に、本当にありがとうございます。また引き続きの方は区政会議を通じて、また、それだけでなく地域ですとか個人的にでも、いろいろお声を聞かせていただけたらと思っておりますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。本日もお疲れさまでございました。

○藤野議長 ありがとうございます。

そうですね。そうしたら、橋本議員、お願いいたします。

○橋本議員 すみません、ウェブから失礼いたします。市会議員の橋本まさとです。今日はお疲れさまでした。

私、2年前に選挙で議員にならせていただきまして、ちょうどこの区政会議が一番最初にスタートするところからちょうど一緒させていただきまして、感慨深くこの2年間の、今日の集大成を一緒させていただいたなと思ひまして、大変うれしく思っております。

1点、私、いろんな部会ですとか議会に参加させていただきながら一貫してお伝えさせていただいたのが、こうやって皆さんに参加いただいてディスカッションいただくというこの内容そのものもさることながら、参加いただくということが非常に政治あるいは地方自治含めて、地域にとってすごい大事だと思ひまして、今回定数のところもやはり半分ぐらいの参加者の方、だんだん少しずつ、間にコロナもあったんですけども、減っていかれるのも少し残念にも思ひながら拝見してございまして、ご参加いただいた皆様におかれましては、実際ご参加いただいた皆様の経験というか、そういったものをぜひお近くの方、地域の方にお伝えいただきまして、ぜひまた次の期の方々へのバトンリレー、ぜひもっと多くの皆さんにご参加いただくような形で、巻き込むような形でお持ち帰りいただけたらと思ひまして。我々議員もしっかり頑張りますので、これからもどうぞよろしく願いいたします。本当にありがとうございました。

○藤野議長 ありがとうございます。

最後に、私のほうからも一言ちょっと述べさせていただきたいと思います。

拙い進行でご迷惑をおかけすることも多々あったかと思いますが、皆様のご協力もありまして、2年間無事に務めさせていただくことができました。

この2年間というのは、ちょうどコロナの感染がピークを過ぎてまたちょっと落ち着いて、今やっと、例えば先週も区民まつりとかありましたし、また今、各地域でもイベント、行事ごとを再開されているような段階かと思います。もうそのような取り組まれてる中で、皆様お忙しいところ、区政会議にご協力いただきましてありがとうございます。

またこの後継続して務められる委員の方もいらっしゃると思いますし、ここで退任される方もいらっしゃると思いますけれども、皆様それぞれの地域であるとか活動団体において活動される中で、例えば抱えているそれぞれの特性であるとか事情、課題であるとか、そういうものをまたこれから委員になられる方と共有していただいたりしながら、またこの区政会議をよりよいものにしていただけたらなというふうに思っております。

ぜひ区の目標である「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」というものを実現するために、また皆様と協力できたらなと感じております。本当に委員の皆様、そして事務局はじめ区役所の職員の皆様、そして議員の皆様、本当に2年間ありがとうございました。

本日の議題は以上となります。

ここからは進行を事務局のほうにお返しいたします。

○濱係長 藤野議長、ありがとうございました。

これをもちまして、令和5年度第1回東淀川区区政会議の本会を閉会いたします。皆様、ありがとうございました。